

平成 27 年第 5 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 27 年 5 月 28 日（木） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 15 時 50 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階大会議室
4. 出席委員 委 員 長 内 藤 堯 雄
委 員 市 場 かおり
委 員 荒 木 貴 子
委 員 渡 邊 隆 信
教 育 長 松 本 直 行

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	小 林 剛
教育総務課長	中 倉 建 男
学校教育課長	柿 本 博 司
こども未来課長	伊 藤 勝
文化スポーツ課生涯学習係長	阿 部 亜希子
図書館長	上 坂 寿 人
総合教育センター所長	安 富 均
教育総務課総務係長	伊 藤 陽 子

6. 付議事項

- 議案第 33 号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について
- 議案第 34 号 加西市学校評議員の委嘱について
- 議案第 35 号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について
- 議案第 36 号 加西市保育の必要性の認定に関する条例施行規則について
- 議案第 37 号 加西市立幼稚園型一時預かり事業の実施に関する規則について
- 議案第 38 号 加西市子どもいじめ問題対策審議会委員の委嘱について
- 議案第 39 号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について
- 議案第 40 号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第33号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

教育総務課長より、加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について説明する。学校給食センターの設置及び運営に関する条例第5条第3項の規定により、加西市学校給食運営審議会委員を委嘱するものである。4号委員として富田・日吉・泉小学校PTA会長と北条中学校PTA会長を委嘱する。4月末にPTA総会が開催され、PTA会長が決まったため任期は27年5月1日から平成28年4月30日までの任期となる。

議案第34号 加西市学校評議員の委嘱について

学校教育課長より、加西市学校評議員の委嘱について説明する。加西市学校評議員設置要綱第5条の規定により、加西市学校評議員に次の者を委嘱するものである。

任期は、平成27年4月1日から平成28年3月31日である。評議員は、各学校で5名から8名を男女のバランスも配慮し学校長の推薦を受けて、教育委員会が決める。学校と地域の連携を行う代表者として推薦をいただいております、委員会は年3回程度開催する。

教育委員より年3回程度の開催であるが、各学校によって回数が変わるのかとの質問があり、学校教育課長より、オープンスクール等学校行事で来ていただいた際に御意見を聞くことはあるが、正式な回数は概ね3回であると回答する。

教育委員より、評議員会で出た意見については、どのような流れになるのかとの質問があり、学校教育課長より、まず学校の方で意見を地域・保護者へ返していくか、教育委員会へ要望する事項であるかを校長の判断で行い、有効に活用していると回答する。

教育委員より、学校長の推薦に依るとなっているが、区長会長・PTA会長だけでなく他の方面からも考えてはどうかとの意見があり、学校教育課長より、学校長に伝えると回答する。

議案第35号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

学校教育課長より、加西市結核対策委員会委員の委嘱について説明する。加西市立小学校・中学校児童生徒の結核対策委員会要綱第3条の規定により、加西市結核対策委員会委員に委嘱するものである。

任期は、平成27年4月1日から平成28年3月31日であり、8名を委嘱する。昨年度から変更者は、加東市健康福祉事務局長、加西市立中学校代表、小学校代表、中学校養護教諭代表、小学校養護教諭代表の5名である。

議案第36号 加西市保育の必要性の認定に関する条例施行規則について

こども未来課長より、加西市保育の必要性の認定に関する条例施行規則について説明する。加西市保育の必要性の認定に関する条例施行規則の内容と、制定に至る理由と、教育・保育給付支給認定申請書の取り扱いについて説明を行う。条例については、昨年度に上程している。この規則は、認定を受けるための申請と、事務手続きの様式を決めるものである。様式については、国の申請様式を流用している。優先事由、認定の変更、認定の交付、認定期間、認定の確認、委任の各項目について説明を行う。

教育委員より、規則は長文にならないようにこのような書き方であるのかとの質問があり、こども未来課長より、条文は上位法がある場合は、その条を引用して、その説明を行わないものであると回答する。

教育委員より、教育・保育給付支給認定申請書の提出場所が利用を希望する施設になっている意味について質問があり、こども未来課長より、申請者がその園に行くことが多いと考えて、提出先は利用を希望する園としたが、こども未来課に直接提出されても良いと回答する。

教育委員より、認定の変更に関して過去のトラブルに対応していることについて質問があり、こども未来課長より、認定書の期限が切れる方については、該当する月の初めに通知を出すことを考えていると回答する。

議案第37号 加西市立幼稚園型一時預かり事業の実施に関する規則について

こども未来課長より、加西市立幼稚園型一時預かり事業の実施に関する規則の制定について説明する。幼稚園の預かり保育を実施するにあたり、国の制度が変わったことで規約を作るものである。変更点は、従来の預かり保育の事業名を幼稚園型一時預かり事業に変更する点と、従来の利用料は月額で決まっていたため、利用者に配慮し日割り計算に変更する点である。実施内容は従来どおりである。

教育委員より、教育・保育給付支給認定現況届内の家庭の状況のチェック項目について質問があり、こども未来課長より、前の2項目に該当が無い場合に左記以外の項目にチェックを入れると回答する。

議案第38号 加西市子どもいじめ問題対策審議会委員の委嘱について

総合教育センター所長より、加西市子どもいじめ問題対策審議会委員の委嘱について説明する。加西市子どものいじめ防止に関する条例第13条の規定により、加西市子どもいじめ問題対策審議会委員に委嘱するものである。

委嘱期間は、平成27年6月1日から平成29年3月31日で、大学教授、児童館館長、弁護士、精神科医、臨床心理士に委嘱するものである。委員には、次の3点について取り組んでいただき、1点目は市基本方針及びいじめの防止等の対策に関する審議、2点目は学校において重大事態が発生した場合の事実確認・解決のための調査・審査または関係者との調整、3点目はいじめ等の防止に関する調査・審議である。

教育委員より、いじめは小さな時に初期対応をしていると思うが、いじめに対しては実態がつかめないものであり、今後も小さなうちに芽を摘むようにしてもらいたいと要望がある。

議案第39号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

教育総務課長より、加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について説明する。加西市教育委員会評価委員会設置要綱第3条の規定により、加西市教育委員会評価委員会委員を委嘱するものである。

委員の任期は2年であり今年度が、更新の時期になっている。兵庫教育大学の日渡教授は継続であり、同大学の小西教授は今回新たに委嘱するものである。

議案第40号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について

こども未来課長より、加西市幼稚園等評議員の委嘱について説明する。加西市幼稚園等評議員設置要綱第4条の規定により、加西市幼稚園等評議員を委嘱するものである。任期は、平成27年4月1日から平成28年3月31日である。各園ごとに3名から4名を委嘱する。

教育委員より、泉幼稚園で石部神社太鼓振興会顧問が評議員である理由について質問があり、こども未来課長より、園で太鼓の指導講師として関わりがあるため委嘱していると回答する。

9. 議決事項

議案第33号 加西市学校給食運営審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第34号 加西市学校評議員の委嘱について

原案どおり可決

議案第35号 加西市結核対策委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第36号 加西市保育の必要性の認定に関する条例施行規則について

原案どおり可決

議案第37号 加西市立幼稚園型一時預かり事業の実施に関する規則について

原案どおり可決

議案第38号 加西市子どもいじめ問題対策審議会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第39号 加西市教育委員会評価委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第40号 加西市幼稚園等評議員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長から

5月2日～5日まで、加西市の姉妹都市、アメリカ ワシントン州プルマン市のグレン・ジョンソン市長が加西市を訪問された。3月末にプルマン市を訪ねた子ども達は、ジョンソン市長を市役所で出迎えた後、英語で加西市の紹介をした。ジョンソン市長は、滞在中、法華山一乗寺の散策、北条鉄道乗車、さらに、播磨国風土記1300年祭を鑑賞された。

5月11日、平成27年度第1回兵庫県都市教育長会議が宝塚市で開催され、各市より、「子どもの携帯電話・スマートフォンの利用に係る諸課題に対する取組」について報告をした。本市においては、昨年度、市内小中学校の児童・生徒を対象に、「インターネット等の

利用についてのアンケート調査」を実施し、現状把握に努めるとともに、啓発リーフレット「加西市における小中学生のインターネット等の使用に関する現状と今後の対策について」を保護者に配布し、啓発に努めていることなどを報告した。

5月9日より、概ね60歳以上の市民を対象に、健康・安全・文化・歴史・環境等について1年を通じて学ぶ「かしの木学園」の開講式が、市内4つの公民館で開催された。本年度は、4公民館あわせて402名の方々が受講されている。

それぞれの開講式で、参加者の方々より、自分のキャリアを切り拓いたり、趣味や娯楽として、またライフワークとして、何か新しいものを学びたいという「学び」への高い意欲を感じた。

教育委員より、子ども達にとってプルマン市訪問は大変成果があったと思う。子ども達がジョンソン市長を迎えた様子がとても友好的に思えた。事前研修や訪問時での経験から、ジョンソン市長出迎え時の子ども達の英語がよくなっていたと思う。米国プルマン市への加西市中生親善訪問団報告会が6月6日に行われるが、各学校で友達や下級生に良い影響を与えてもらえたらと思うとの意見がある。

(2) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化事業等進捗状況について報告する。富田小学校南校舎地震改築工事は、内装工事中で順調に工事が進んでいる。6月には新校舎が完成し、引き渡し後7月から木造校舎の解体工事に着手する計画である。宇仁小学校渡り廊下設置工事は、基礎と土間コンクリートの工事中である。西在田・九会・賀茂・下里小学校の耐震化工事と、天井等非構造部材落下防止工事は入札事務を行っている。

次に、平成26年度教育委員会点検評価の教育委員会自己評価について報告する。取組を一覧表にまとめることで、評価の全体を分かり易くしたことを説明した。また、担当課長より実践目標の取組、成果、課題について内容説明を行う。今後、教育委員会事務局と教育委員の自己評価を摺合せ教育委員会自己評価としてまとめる。

教育委員より、教育委員会評価について、数値的達成基準があいまいである。％（パーセント）で表す等、工夫してはどうかとの意見があり、教育総務課長より、他市町を参考にして評価の表記を行っている。わかりやすいように表現等を考えたいと回答する。

(3) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童生徒の学習・生活について報告する。新年度がスタートして約2ヶ月になるが、各学校とも子ども達は非常に落ち着いた状況で、充実した学校生活を送っている。中学校においては、5月12日から14日にかけて、4中学校連合で九州方面に修学

旅行に行った。参加者数413名、欠席者は13名であった。小学校においては、今年度、富田小・賀茂小・下里小・九会小・西在田小の5校が5月23日に運動会を実施した。各学校からは、新学期の忙しい中での運動会練習は大変であったと聞いている。1年生に関しては、6年生から2年生の集団の中で育っていった感がある。大きな成長であった。校長会でも、こういった情報を共有しながら、運動会の時期を協議したい。特別支援学校においても、5月16日に運動会を実施したが、上級生を中心にいい状態で開催することができた。

次に、体力運動能力調査結果について報告する。小学5年生と中学2年生を対象とした平成16年度からある資料をもとに、全国、兵庫県、加西市の平均値を比較したグラフを作成した。小学5年生男子については、シャトルランは、非常に高いレベルである。立ち幅跳びは、全国・県より少し高いレベル、ボール投げは全国・県と同レベルである。一方、50m走、長座体前屈、反復横跳び、上体起こしは全国・県よりも低いレベルである。女子についても同傾向である。これらのことから、小学生については、持久力は優れているが、柔軟性や瞬発力が劣っていることがわかる。中学2年生男子については、50m走、持久走は、全国・県よりも高いレベルである。小学生の時に50m走の結果が低いレベルであっても、中学生になるとレベルが上がってきているといえる。その他の種目については、全国・県とほぼ同レベルである。小学生の時に低いレベルであっても、中学生になれば回復していることがわかる。中学2年生女子については、持久走はかなり高いレベルである。その他の種目については、全国・県とほぼ同レベルである。全体として、小学生と同様に持久力は優れているが、柔軟性が劣っている。今後、この情報については、校長会で報告し、市全体として取組を作成したい。また、部活動のガイドラインについて、部活動ガイドライン策定委員会を6月から進めていくが、ほぼ完成した9月以降に、加西市体力向上プロジェクト事業としてまとめる予定である。

続いて、ヤングアドバイザー配置事業実施要項の変更について報告する。体力・運動能力に課題があるということで、ヤングアドバイザーを体育の授業や中学校の部活動の指導に活用できるのではないか、ということで要項を変更している。確かな学力や健やかな体の育成に向け、複数指導、個別指導の形で専門的な指導を行えるようにするものである。

続いて、かさい学力向上プロジェクト事業について報告する。昨年度より取り組んでいる事業であるが、児童生徒の学力向上について、4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果がおそらく8月頃に発表させると思うが、それを受けて、分析結果及び学習指導要領の趣旨を踏まえた効果的な指導方法・指導体制について検討し、児童生徒の確かな学力に定着を図るための実践的な推進方策等を考えていこうとしている。事業組織として、かさい学力向上推進委員会とかさい学力向上推進実践講座がある。委員会では、全国学力学習状況調査結果の分析と考察を行い、「かさい教育ねっと」により情報発信を行う。実践講座では、総合教育センターで実施している研修講座に位置づけ、授業実践ということで、実際に講師の方に授業を観ていただき、それを基に、授業改善のポイントについて検討していく。事業予

定、事業内容について説明する。

さらに、トライやる・ウィークについて報告する。中学2年生を対象に、6月1日から6月5日まで実施する。本年度は151事業所にお世話になる。学校ごとに事業所数にばらつきがあるが、生徒数に応じた事業所数になっている。昨年度、教育委員の方から「事業所名を五十音順に表記してはどうか」と指摘があったが、学校では業種別に区分しているため、内部資料ということもあり、ご理解願いたい。この取組については、かさい教育ねっとや加西市ホームページで、市民の方にご協力をお願いしている。

最後に、学校づくり応援事業について報告する。各学校がテーマを持って、それぞれ学校の特色ある取組を行っている。児童生徒の実態、地域の実態を踏まえ、より魅力ある学校づくりを目指して取り組んでいる。子ども達の生きる力を育てること、地域に信頼される学校づくりを推進することが目的である。地域の人々、保護者、専門的な知識を持った方、いろいろな方々に支援者となっていただき、関係機関と連携を図っていただきながら、この事業を推進している。なお、当該事業はふるさと納税を活用して行っている。

また、米国プルマン市への加西市中学生親善訪問団報告会が6月6日（土）10時から、アスティアかさい3階集会室で行われると報告する。

教育委員より、ヤングアドバイザー配置事業実施要項について、資格の欄を見ると、主に学生の方が対象と思われるが、学生以外の方もいらっしゃるのかとの質問があり、学校教育課長より、ほとんどが資格を持っている方である。昨年度から継続して勤めている方もいるし、教師を退職して、再任用という形態で勤めている方もいると回答する。

教育委員より、ヤングアドバイザー配置事業について、ヤングアドバイザーを体育の授業や部活動の指導に配置できるとあるが、現在、体育の授業には配置されていないのかとの質問があり、学校教育課長より、現在はまだ配置していない。体力測定の結果を踏まえ、要項を変更することにより、ヤングアドバイザーを体育の授業に配置でき、複数指導することで運動能力の向上につながる。部活動についても、北条中学校の陸上部にモデル的にヤングアドバイザーを配置していると回答する。

教育委員より、トライやる・ウィークについて、内部資料ということであるが、受け入れ先の業者名に「株式会社」がついていたり、ついていなかったりしている。統一してはどうかとの意見がある。

教育委員より、5月の運動会であるが、私も1校、見学させてもらった。新学期が始まって間もない時期に、よくここまで準備ができ、演技もできていたと感心した。今後、校長会等で検討されるということであるが、良い点、悪い点等、よく検討していただきたいとの意見がある。

教育委員より、保護者の方からの感想であるが、例年に比べて子ども達の体力の消耗が少なく、元気に取り組んでいた。また、短い準備期間であったが、完成度は高かったとの意見がある。

(4) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課生涯学習係長より、加西市小学生土曜日プログラムについて報告する。これは加西市教育委員会主催の社会教育分野の事業プログラム一覧である。これまでそれぞれの機関がPRを行っていたが、わかりにくいとの意見があり、一覧表にしてまとめた。4月の新学期に学校を通じて配布したところ、昨年を上回る数の申し込みがあり、スポーツ少年団を除く定期的講座には、200名を超える応募があり、5月から順次開講している。

次に、社会教育活動のあゆみについて、図書館、総合教育センター等の社会教育事業の平成26年度の実績をまとめたものであると報告する。

(5) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、平成27年度研修講座について報告する。21コース、38講座を開講予定である。そのうち夏休みに26講座を行う。これは教職員の方にアンケートを取ったところ、授業のない夏休み中の開講希望が多かったためである。各講座の特色を説明する。現在、申込者数は延べ741名である。申込者数の少ない講座は再募集を行っている。最終的には前年度と同じくらいの申込者数になると思われる。

教育委員より、総合教育センターの研修講座一覧について、充実した講座内容であると思う。昨年度の教育委員会点検評価の評価内容でも、受講者から5段階平均で4.66ポイントの評価をもらい、高い満足度を得ている。このまま継続してもらえたらと思う。人気のある講師を呼んでいただいているが、総合教育センターと講師の方とのコミュニケーションを図ってほしい。講師の方が伝えたいことと、加西市教育委員会や総合教育センターが講師の方に伝えてほしいことが、ずれていることがある、それを調整するような工夫をしてほしい。受講者のアンケート結果を講師にフィードバックしているのか。一方通行にならないようにしてほしいとの意見があり、総合教育センター所長より、講師の方との事前の打ち合わせが大切であると考えている。受講者が望んでいることは何か、現状で困っていることは何かを把握し、どのようなことを指導してもらえるのかの調整を大事にしている。アンケート調査の結果も講師の方にフィードバックし、次年度の講座につなげたいと思っていると回答する。

11. 協議事項

なし

12. 教育委員の提案

教育委員より、市のホームページの中で、加西市のこども園、幼稚園に関するページを見ると、園の数がおかしいと思う箇所がある。また、文章で説明はあるのだが、図などを活用して、わかりやすくしてほしいとの意見があり、こども未来課長より、ホームページの内容を確認して間違っていれば訂正したいと回答する。

教育委員より、幼保施設において、施設ごと、年齢ごとの児童入所人数や割合はホームページに掲載されているのかとの質問があり、こども未来課長より、ホームページに、施設ごと、年齢ごとの定員は掲載しているが、入所人数は掲載していない。今後、ホームページの改善を図りたいと回答する。

教育委員より、格差是正の要望書について、いろいろな施設を訪問したが、要望書が上がってくる流れを教えてください。教育総務課が学校を訪問してヒアリングするのかとの質問があり、教育総務課長より、各学校で要望をまとめてもらい、学校長より教育総務課へ提出してもらおう。次に教育総務課で内容を確認し、予算の内容、各学校の備品の状況、施設の状況から判断して配分している。高額なものについては、財政課に予算要求をしている。急を要するものについては、応急処置で対応していると回答する。

教育委員より、専門家にも相談していただき、一時しのぎではなく、先を見据えて対応していただきたいとの意見がある。

13. 今後の予定について

- ・平成 27 年第 6 回定例教育委員会 6 月 23 日（火）13:30～ 市役所 5 階大会議室
- ・平成 27 年第 7 回定例教育委員会 7 月 23 日（木）9:00～ 市役所 1 階多目的ホール

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 27 年 5 月 28 日

出席委員

(出席委員署名)